

## パネルディスカッション1：看護の未来を語る～地域包括ケアに向けて～

<b>演題名</b>	「看護の未来を語る」～与えられた生を充実して過ごすために、看護師だから出来る支援～
------------	---

### 概要

神奈川県の西湘地区箱根町は観光地として有名な地域である一方、7200世帯、高齢化率28.3%深刻な少子高齢化の波が押し寄せています。2009年に在宅で寝たきりの生活を送っている方に少しでも多く外出の機会を得て欲しいとの思いから、観光地で訪問看護と療養通所介護という医療依存度の高い在宅重度者の為の通所介護をはじめました。傍らで、療養病棟入院中の難病患者様の外出支援やガン末期患者の外泊中の訪問、箱根などホテル宿泊時のケアに訪問するなど保険外のサービスを提供してまいりました。

そんな中で、医療依存度の高い利用者が安心して宿泊できるサービスの必要を感じ、箱根町の地域密着型サービスの指定を受けながら、利用者の状態に応じた宿泊と通所・訪問サービスを実施し、箱根町以外の方の保険外サービスの宿泊も受け入れています。このサービスは、当たり前的人生を楽しむ空間の提供とともに、安心して人生の最期の時間を過ごしていただける看取りの場でもあります。

地域のサービスとの協働しながら看護師だからこそできるサービスを模索しここにたどり着きました。

また、国の繁栄を担う生産人口の確保の観点から少しでも介護者が社会参加できるようサポートすることも、我々の仕事でもあります。今後は、働くお母さんをサポートするための、小児の放課後デイサービスの展開を予定しています。65歳以上の看護師の採用や反対に新卒の看護師の採用なども積極的に行っています。

既にあるサービスの中に利用者を当てはめるのではなく、どんなサービスがあればよりよく生きられるのかという視点で目指す未来をお伝えできればと思っています。